

第136回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年7月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,036	-1.71	-0.41	4,047	-0.66	-0.41
東部地区	14,351	-0.01	0.18	5,560	1.36	0.36
西部地区	10,780	0.47	0.39	3,927	2.82	1.05
駅南地区	6,423	0.50	0.32	2,614	1.08	0.53
半田地区	3,511	1.18	-0.28	1,278	2.98	-0.23
横山地区	5,696	0.81	0.28	1,854	2.43	0.59
茨目・田尻地区	6,941	0.37	-0.05	2,323	0.78	-0.47
荒浜地区	5,280	0.30	-0.17	2,019	2.27	-0.29
その他地区	21,796	-1.52	-0.33	7,219	-0.59	-0.44
西山町地区	6,569	-2.02	-0.10	2,152	-1.19	-0.37
高柳町地区	2,088	-4.04	-0.33	856	-2.50	-0.11
柏崎市計	93,471	-0.56	-0.05	33,849	0.70	0.02
刈羽村	4,991	-0.25	-0.06	1,513	0.93	-0.19
小国地区（長岡市）	6,654	-1.66	0.03	2,150	-0.09	-0.04
出雲崎町	5,384	-1.66	-0.11	1,826	-0.54	0.00
合計	110,500	-0.66	-0.04	39,338	0.61	0.01

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で744人、0.66%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が527人、0.56%、刈羽村が13人、0.25%、小国地区（長岡市）が113人、1.66%、出雲崎町が91人、1.66%とそれぞれ減少している。

また、前月比においても、柏崎市が47人、0.05%、刈羽村が3人、0.06%、出雲崎町が6人、0.11%と減少していることから、全体では54人、0.04%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が237世帯、0.70%、刈羽村が14世帯、0.93%と増加したことから、全体では239世帯、0.61%の増加となった。

また、前月比においても、柏崎市が8世帯、0.02%と増加したことで、全体では4世帯、0.01%の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,107		-6.81		-8.58	
月間有効求職者	1,064		-17.45		-7.79	
月間有効求人倍率	1.04	0.93	0.12*	-0.07*	-0.01*	0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,107人と前年同月比で81人、6.81%の減少、前月比でも104人、8.58%と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,064人と前年同月比で225人、17.45%の大幅な減少となり、前月比でも90人、7.79%の減少となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.04倍と前年同月比で0.12ポイント上回ったものの、前月比では0.01ポイント下回り、県平均0.93倍に対しては0.11ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が341人と前年同月比で151人、30.69%の大幅な減少、月間新規求職者数も252人と前年同月比で81人、24.32%と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.35倍と前年同月1.48倍を0.13ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年7月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	7	-19	-17	93	-53
共 同 住 宅	1	0	-1	7	5
事 務 所	1	1	0	3	1
作 業 所 ・ 工 場	1	-2	-1	10	0
営 業 建 物	2	0	-5	13	-2
公 共 建 物	0	-1	0	1	-4
そ の 他	1	-5	-16	41	-23
合 計	13	-26	-40	168	-76

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「新潟県中越沖地震」の影響から、当月申請合計が前年同月比で26件、前月比でも40件の大幅な減少となり、工種全体では13件の申請となっている。工種別内訳の主な増減をみると、前年同月比では一般住宅（併用）で19件の大幅な減少、前月比でも一般住宅（併用）で17件、その他で16件と大幅に減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が8件、増築が4件、改築が1件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数については、市内施工業者が6件（うち新築3件、増築2件、改築1件）、市外施工業者が1件（うち新築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,680	0.22	-0.06	14,718	-5.22	-1.76
電 力	12,283	-2.57	-0.21	43,250	-13.98	-10.30

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で143口、0.22%の増加となったものの、前月比では45口、0.06%の減少となった。一方、電力では前年同月比で325口、2.57%の減少、前月比でも27口、0.21%の減少となっている。

使用量においては、「新潟県中越沖地震」の影響から、電灯が前年同月比で812kwh、5.22%の減少、前月比でも265kwh、1.76%と減少している。一方、電力においても前年同月比で7,032kwh、13.98%、前月比でも4,967kwh、10.30%と共に二桁台の減少率を示している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	968,385	-7.03	-23.83	715,706	-2.94	-5.08
営 業 用	172,660	-22.47	-16.72	122,333	-10.42	-9.04
工 場 用	452,910	-19.57	-15.05	121,769	-24.99	-22.95
官 公 学 校 用	211,712	-42.05	-17.25	73,188	-31.37	-24.19
そ の 他				1,760	373.11	2156.41
合 計	1,805,667	-17.65	-20.37	1,034,756	-9.49	-9.48

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、「新潟県中越沖地震」で全市域的に供給ストップした影響から、用途全体では前年同月比で387,182m³、17.65%、前月比でも462,085m³、20.37%と大幅な減少となった。また、用途別内訳を見ても、前年同月比、前月比共に全ての用途で二桁台の大幅な減少率を示している。

一方、水道給水量も同様に、用途全体では前年同月比で108,572m³、9.49%、前月比でも108,448m³、9.48%と大幅に減少しており、用途別においても、その他を除く全ての用途で大幅な減少となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	124,074	48.75	66.24	89,548	1.74	14.35
西 山	92,470	113.32	134.49	97,512	142.51	176.79
米 山	48,033	82.28	128.46	57,540	138.97	200.37
合 計	264,577	72.80	95.85	244,600	60.60	84.33

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、「新潟県中越沖地震」による市外からの支援活動等が高速道路を利用したことから、入口が全体では前年同月比で111,472台、72.80%、前月比でも129,486台、95.85%とそれぞれ大幅な増加となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で92,302台、60.60%、前月比でも111,908台、84.33%の大幅な増加となった。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの出入口で前年同月比、前月比共に大幅に増加しており、特に出口制限を受けた柏崎インターを除く西山・米山インターでは三桁台の増加率を示している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	333,340	0.57	-0.86	136,923	0.19	-0.67
平 残	330,196	-0.65	-1.27	135,912	0.40	0.34

預金は、末残が前年同月比で1,893百万円、0.57%の増加となったものの、前月比では2,920百万円、0.86%の減少となった。また、平残においては前年同月比で2,168百万円、0.65%の減少、前月比でも4,260百万円、1.27%の減少となっている。

一方、貸出金は末残が前年同月比で262百万円、0.19%の増加となったが、前月比では929百万円、0.67%の減少となり、平残においては前年同月比で551百万円、0.40%の増加、前月比でも461百万円、0.34%と増加している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,860	-1.46	21.19
交 換 金 額	5,285	19.17	67.22
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、交換枚数が前年同月比で87枚、1.46%の減少、前月比では前月末日の休日要因から1,025枚、21.19%と大幅な増加となっている。また、交換金額は前年同月比で850百万円、19.17%、前月比でも2,125百万円、67.22%と大幅な増加となった。なお、不渡手形は3カ月連続で発生していない。

当月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は4件（前年同月4件、前月5件）、負債総額36億円（同28億円、同36億円）、1件当たりの負債額9億円（同7億円、同7億円）となっている。

県内地区別では下越地区2件（新潟市1件、燕市1件）、上越地区2件（上越市1件、糸魚川市1件）、中越地区は発生していない。業種別は販売業1件、サービス業・その他3件で、倒産原因別の状況は販売不振3件、その他1件となっている。

県内企業倒産は、大型倒産（負債10億円以上）が2件、負債総額33億円発生している。倒産全体では前年同月比で件数は同数、負債総額7億円の増加となったが、前月比では1件の減少、負債総額は同額となっている。

「新潟県中越沖地震」により、旅館・ホテルなどの観光業では風評被害からキャンセルが相次いでいるなど、地震による影響が懸念される。三年前の「新潟県中越地震」では、地震による影響から法的整理となった倒産は、サービス業・販売業合計で7件発生しているが、今回の地震による影響は現時点では不透明ではあるものの、今後の動向については、より一層慎重な見方が必要であろう。